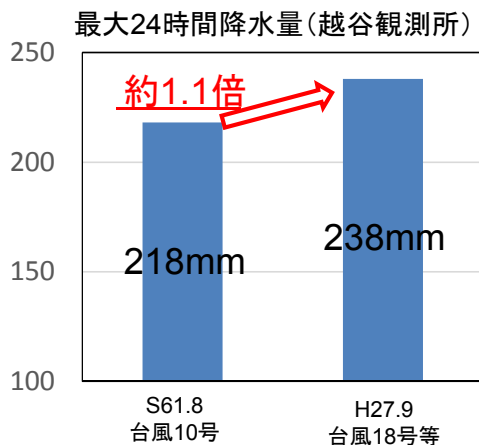


中川・綾瀬川流域における治水対策の効果

○中川・綾瀬川流域では、平成27年9月6日から10日にかけて断続的に降雨が続き、埼玉県の越谷観測所において、24時間降水量（238mm）が観測史上最大であった218mm（昭和61年8月5日）を更新。

○昭和61年8月洪水と比較すると、雨量は約1.1倍だったが、浸水戸数は約9割減（16,874戸→1,849戸）。

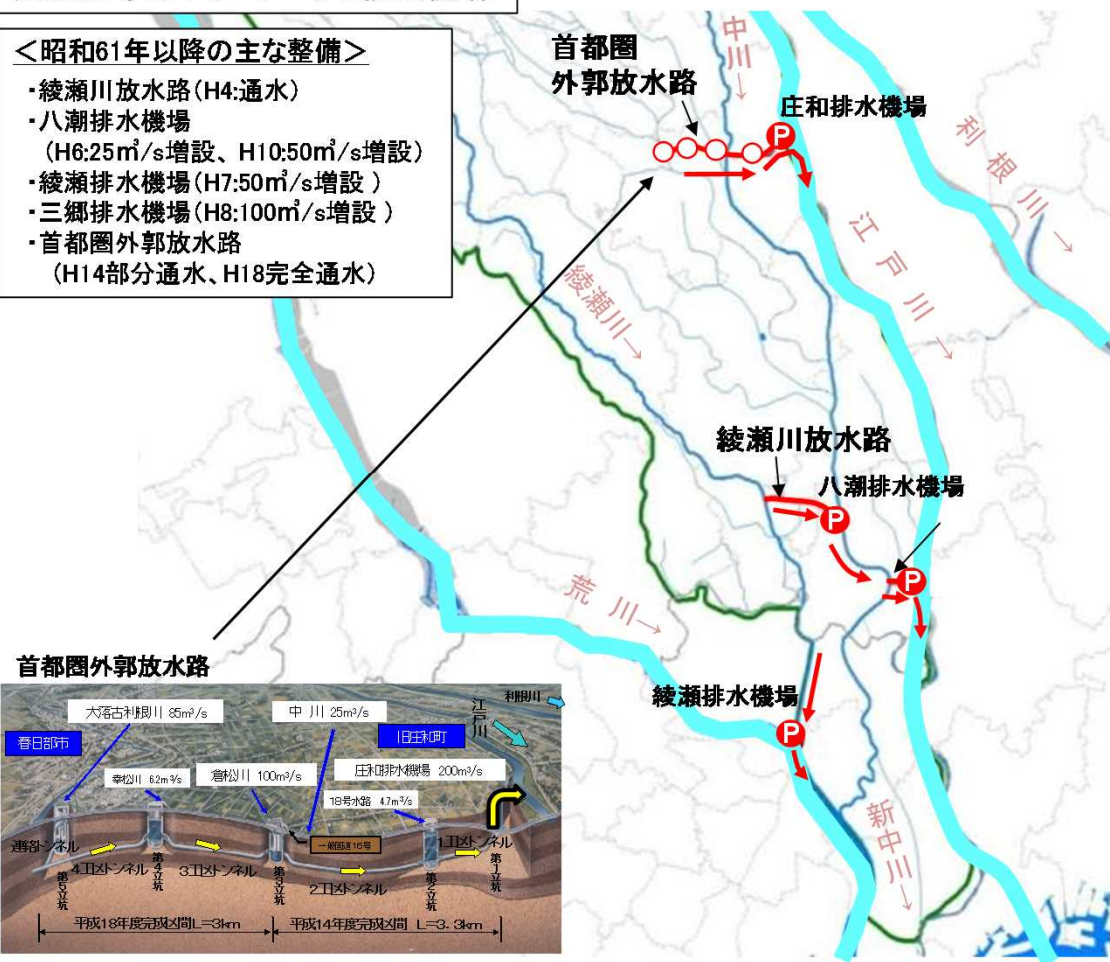
○昭和61年8月洪水では足立区で約5,000戸の浸水被害が発生したが、台風第18号等では浸水被害はなかった。



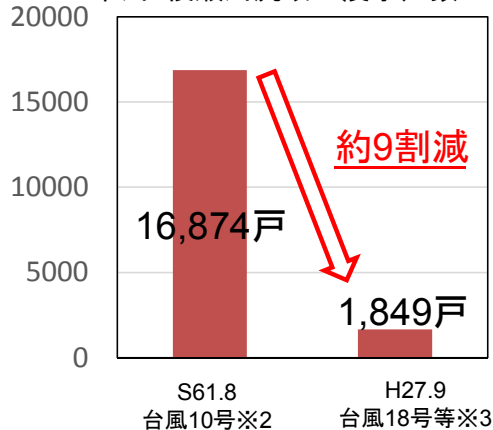
放水路等のネットワークと排水機場

<昭和61年以降の主な整備>

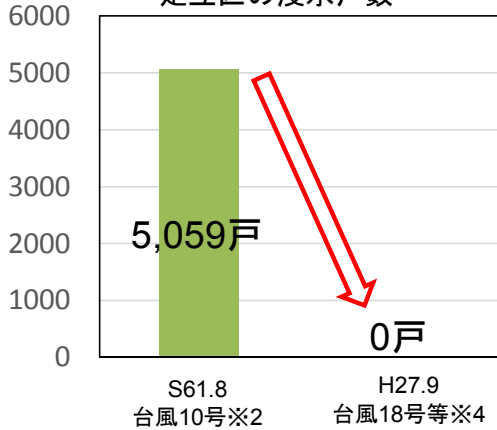
- ・綾瀬川放水路（H4:通水）
- ・八潮排水機場（H6:25m³/s増設、H10:50m³/s増設）
- ・綾瀬排水機場（H7:50m³/s増設）
- ・三郷排水機場（H8:100m³/s増設）
- ・首都圏外郭放水路（H14部分通水、H18完全通水）



中川・綾瀬川流域の浸水戸数※1



足立区の浸水戸数



※1 一部でも中川・綾瀬川流域に含まれる市町村
※2 水害統計
※3 埼玉県公表資料（H27.9.14 17:00時点）
※4 東京都公表資料（H27.9.10 20:50時点）